

生研ニュース

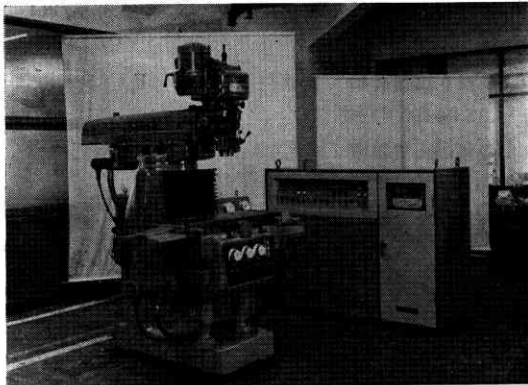
☆受 賞☆



山口楠雄助教授

第 3 部 山口楠雄助教授は工学部元岡達助教授および富士通信機製造 KK 稲葉清右衛門・吉武智士両氏とともに発明した「パルス分配方式ほか」によって発明協会主催の全国発明表彰式において科学技術長官賞を受賞、4月16日発明会館ホールで賞状を授与された。

この発明は工作機械（フライス盤等）の数値制御方式における指令パルスの発生方式に関するもので、MITにおいて当初開発された数値制御方式が曲線を直線によ



KK 牧野フライス製作所製 KHbNCP-70 に接続された富士通信機製造 KK FANUC-220

り分割近似して切削するのに対し、これとまったく異なる原理により、円弧および直線の関数をデジタル的に発生させ曲面を円滑に切削することを可能としたものである。またこれとはほぼ同時にアメリカおよびソ連において開発された円弧切削方式が digital differential analyzer (DDA) 方式であったのに対し、本方式は円の内外、あるいは直線の上下による判別式の正負により円または直線を階段状に近似するもので、目的とする切削面の円弧の始点および終点、あるいは直線の終点の座標を与えるのみで切削できるだけでなく、平滑な仕上面、切削速度の任意設定、カット半径の任意設定、同一入力テープによる雌型、雄型の切削可能等の長所があり、現在までに国内において数十台の装置が実用されていただけでなく海外への輸出も行なわれている。

☆所内見学☆

◇中国物理儀器技術考察団（団長顧功叙ほか十数氏）は「地震および耐震に関する全般的関絡研究」のため4月22日来所、電子計算機（渡辺研）・コンクリート（小林

研）・写真測量（丸安研）・建築構造（坪井研）・土質、道路（星埜研）・耐震関係（久保研）・建築環境、音響（藤田・石井研）・耐震関係（岡本研）の諸研究室を見学した。

☆学位取得☆

◇第1部 朝倉利光は「不均一な振幅分布と微小収差による回折像」によって東京大学から工学博士の学位を授与された。（1965.3.15）

☆人 事☆

◇第1部 玉本章夫教授は航空宇宙研究所に移り、本所は併任となった。（1965.4.1）

◇第3部 野村民也教授は航空宇宙研究所に移り、本所は併任となった。（同上）

◇第3部 高木幹雄助教授は、東京大学大学院博士課程修了後、本所へ来任された。専攻分野は応用電子工学（情報伝送）（同上）

◇第4部 明石和夫講師は助教授に昇任した。（同上 4.

◇第5部 伊藤鄭爾助手（特別研究員）は休職中のところ復職した。（同上）

☆講 演☆

◇教授 尾上守夫、技官 十文字弘道「エネルギーとひこめ形圧電低振子の解析」電気通信学会超音波研究会（1965.2.1）

◇教授 尾上守夫、大学院学生 倉地 正「円板状圧電セラミック振動子の非対称振動」電気通信学会超音波研究会（1965.3.29）

◇教授 山辺武郎、元研究補助員 吉田二郎、技官 高井信治、助手 妹尾 学「イオン交換膜における弱解離性塩基の透過性」日本化学会第18年会 関西大学において（1965.4.2）

◇教授 山辺武郎、元研究補助員 田辺忠彦、技官 高井信治、助手（特別研究員）妹尾 学「イオン交換膜におけるパラアミノサリチル酸の透過性」同上、（同上）

◇教授 山辺武郎、千葉大学助教授（元内地研究員）水沢伸也、技官 高井信治、助手（特別研究員）妹尾学「イオン交換膜電解透析による鉄 EDTA 現像液の再生」同上、（同上）

◇助教授 早野茂夫、研究補助員 福島裕夫「有機過酸化物の薄層クロマトグラフィー」同上、（1965.4.2~5）

◇助教授 早野茂夫、技術員 佐藤和子、技官 高井信治、教授 山辺武郎「酢酸セルロース膜上の SDS, SDES の電気泳動」同上、（同上）

◇教授 永井芳男、元大学院学生 黄金川、元研究補助員 石田 穂「カルバゾールジカルボン酸ジエチルとグリコールの重縮合」同上、（1965.4.3）

◇教授 山辺武郎, 大学院学生 鈴木 喬, 技官 本田和子, 助手 (特別研究員) 妹尾 学「イオン交換樹脂によるイオン排除」同上, (1965.4.4)

◇教授 永井芳男, 助手 (特別研究員) 中島利誠, 元研究補助員 八子忠敬「クロトンアルデヒドの重合」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 研究嘱託 松尾昌季, 元研究補助員 谷川恭一「アルキル基を有するジスアゾベンゼン誘導体の染色性」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 研究嘱託 松尾昌季「脱アミノによる p-ジスアゾベンゼン誘導体の合成」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 元研究生 長沢孝太郎「3-ハロゲンベンゾアントロンの Ullmann 反応」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 研究嘱託 山本謙二, 元研究補助員 岩山 統「3,4(CO), 12(CO), 13-ジベンゾイレンカテリレン (ピオロングトロン) の合成」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 元研究生 長沢孝太郎, 元研究補助員 岩山 統, 元技官 長谷川日吉「3,3'-ジベンゾアントロニルの合成」同上, (同上)

◇教授 永井芳男, 助手 西 久夫, 助教授 後藤信行 元技官 長谷川日吉, 元研究補助員 三橋 勝, 元研究補助員 吉田浩一「キナクリドン誘導体の合成」同上, (同上)

◇助手 西 久夫, 教授 永井芳男, 助教授 後藤信行 元技官 長谷川日吉「キナクリドンの合成」同上, (同上)

◇助手 (特別研究員) 朝倉利光, 大学院学生 松田浄史, 研究生 金子昌能「ガスレーザーを用いた光学実験」第12回応用物理, 日本物理学会合同講演会 早稲田大学

理工学部において (1965.4.7)

◇助手 (特別研究員) 朝倉利光, 研究生 永井昌平「レーザー顕微鏡の予備実験」同上, (同上)

◇助手 高島松雄「平行平板の内面反射を利用するシャリング干渉法」同上, (同上)

◇助手 (特別研究員) 朝倉利光, 研究生 金子昌能「開口形態による収差の回折像」同上 (1965.4.10)

◇助手 (特別研究員) 朝倉利光, 研究生 菊池恭孝「振幅フィルターを用いた回折実験」同上(同上)

☆寄稿☆

◇教授 永井芳男, 助手 西 久夫, 助教授 後藤信行 技官 長谷川日吉「キナクリドン・キノンの合成ならびにその性質」工化, **67**, p.2099 (1964.12)

◇教授 久保田 広「日本における光学進歩」光学技術コンタクト, **2**, 10, p.2~6 (1965.2)

◇教授 永井芳男「よいテーマとは何か」高分子, **14**, p.95 (1965.2)

◇助教授 山田嘉昭「塑性接触と摩擦 (II)」表面, 3-3, p.183~190 (1965.3)

◇助教授 山田嘉昭「塑性接触と摩擦 (最終回)」表面, 3-4, p.257~266 (1965.4)

◇教授 永井芳男, 助教授 後藤信行, 助手 西 久夫「キナクリドン系化合物について」有機合成化学協会誌 **23**, p.318~335 (1965.4)

◇教授 久保田 広「戦後の光学機械」光学機械, **1**, 1, p.2~5 (1965.4)

生研ニュース

筆者紹介

◇北川英夫 助教授 工博 専攻 材料力学
◇山田嘉昭 助教授 工博 専攻 材料力学

◇川井忠彦 助教授 工博 専攻 溶接工学
◇北野正夫 元受託研究員 (KKトヨタ中央研究所)

出版委員

出版委員長 菊池 真一	委員 佐藤 寿芳	委員 早野 茂夫	専門委員 星野 昌一
委員 *成瀬 文雄	藤井 陽一	石井 聖光	川井 忠彦
富永 五郎	安田 靖彦	越 正毅	
*水町 長生	西川 精一		編集室 水野 晴明
高橋 幸伯	後藤 信行		*印当番委員

第 17 卷 第 5 号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究誌として、毎月1回発行する)

1965年5月1日発行

印刷所 三美印刷株式会社
東京都荒川区日暮里町 8-93

頒価 140 円

編集者 菊 池 真 一
発行者 岡 本 舜 三

発行所 東京大学生産技術研究所
東京都港区麻布新電土町10
電話 (402) 6231 (代表)
千葉実験場 千葉市弥生町1
電話 千葉 (51) 8311 (代表)